

こんな時あなたは…

あなたは海外の空港で麻薬の密売人と勘違いされてしまった！
集まってくる警察たち
私は無罪だ！！
このままでは裁判沙汰に…

あなたはどうやって無罪を証明しますか？

あなたは海外旅行中です
突然体調を崩してしまった！
病院に行って病状を説明しなきゃ…

あなたは自分の伝えたいことを
満足に伝えることができますか？

54か国の国で英語は国際語とされています。
しかし、英語を使って公正なコミュニケーションはとれているのだろうか
そこで、公正なコミュニケーションをとるための一つの方法として
エスペラントを提案します！

でも、エスペラントって何…



- 計画言語のひとつ
- エスペラントは1887年、当時ロシア領だったポーランドのユダヤ人眼科医 **ザメンホフ** (L.L. Zamenhof) によって考案、提案された。
- エスペラントを母語として使用している人は存在しない
- おそらく現存している言語の中で**最も学習が容易**

はじめに

エスペラントを使用している人はどの程度どこにいるのだろうか...
この質問はどのくらい**便利なのか**を測るための質問である。
ここでは「便利なのか」ではなく「**公正なコミュニケーションの実現に必要な条件を持っているか**」を考察するため、こういった疑問は無視することにする。

なっとくできない人へ

あなたは英語をなぜ勉強しているのですか？
多くの人が便利だから、利益を生むために必要だからと考えるのではないのではないだろうか。英語＝国際語と認識されているからです。
では…

国際語ってなに？

国際語とは
・広く共通に使われている言語
・コミュニケーションや外交、商談などに用いられる

はたして、このような国際語のあり方は世界中の人々がコミュニケーションをとるという目的に対して正しいと言えるのだろうか？ 現在もこの「国際語」のあり方によって起きている問題は多々ある。

①埋まらない溝

第一言語話者と非第一言語話者とで商談をした場合、やはり第一言語話者の方が有利な立場となり、**利益実現の可能性が高くなる。**

⇒論理上のつながりがないにも関わらず
未熟な一方にのみ責任が課されてしまう
・優位な側の、その立場を「悪用」しないという「善意」では解決しない

有利

勉強が不十分…

第一言語話者 >> 非第一言語話者

②権力の問題

日本語、韓国語、イングリッシュ語などは「習慣」の集積となっている

例) 音楽を勉強する部屋 → 音楽室
化学実験をする部屋 → 化学室
勉強する部屋 → 勉強部屋

⇒語尾につくのが「室」の場合と「部屋」の場合がある。
文法によって区別しているわけではなく習慣によって区別している

こんなに覚えられないよ～泣

化学部屋はどこですか？

変な言葉づかいだから知らない！

えー！

このような習慣からつくられている言葉、いいまわしは非第一言語話者にとって理解することは難しく、正しいかどうか正確に判断することはほぼ不可能
⇒第一言語話者が有利になる
よって、第一言語話者に一方的に**コミュニケーションを終了させる権力**が生まれる

③新しい言語を習得するには

生まれながらに持つ能力・時間・お金 この三つが必要
特に言語を習得するには**膨大な量の暗記と長期的な身体的な慣れ**が重要
その条件をどれだけ満たすかによって達成度が大きく変化
学習が難しいものほど環境に左右される
⇒お金がある人の方が有利

公正なコミュニケーションをとるための国際語に必要なことは

- ①、②より **第一言語話者がいないこと**
- ③より **勉強しやすい(簡単)であること**

両方兼ね備えているのがエスペラント!!!

本当にエスペラントがいいの？

①第一言語話者が存在しない

エスペラントは計画語だから**母語として使用している人が存在しない**

②おそらく現存している言語の中で最も学習が容易である

エスペラントの特徴としては
・文法が規則的である(例外がない)
・発音は一文字につき一つしかない
・単語の作りが簡単(他の言語に比べて暗記量が少ない)
どれだけ簡単なのか **岸君の発表へGO!**

エスペラントはこの二つの条件を満たしているので公正なコミュニケーションをとるための有効な手段と言える

でも、勉強したって使えないから意味くない？

確かに今よく使われているのは英語である。エスペラントを勉強したからといって今の世の中では満足に使うことができなくて不便だ。「今の世の中」では、公正なコミュニケーションをとるための条件を満たしているのだから**これから「便利に」していけばよい**のではないだろうか。「便利である」より「条件を満たしている」ということの方が優先すべきことなのだから…

エスペラント国際大会という場で実際に交流の輪が広がってる。

2007年には横浜で開催された。このような機会を増やし、コミュニケーションをとるきっかけを作っていけば「便利」になり**公正なコミュニケーション**をとることのできる世界に近づけることができるのではないだろうか。



Ĉu vi ne komencas lerni Esperanton?

あなたもエスペラントを始めませんか？